番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	吉川町	河川の点検・安全性の確認について ①専門技師による河川の堤防・法面の危険個所の点検について ②川底の土砂の量について ③上流の堤防の破損個所の改修・整備について	吉川町の河川については、昨年度の府民協働型インフラ保全事業で4件の提案をいただき、一部採択1件、他事業での実施1件、保留1件、不採択1件となっています。 ・山内川の南桑中通学路から下流の左岸側については流木を伐採・撤去済。 ・山内川の山内川橋上流の右岸側堤防については、一部洗掘がみられるため、現在府が設計を進めていると聞いています。 ・犬飼川の吉川橋下流の右岸側については、府の現地調査の結果経過観察と聞いています。 今年度については、犬飼川の吉川橋上下流の堰堤・法面の改修要望を聞いており、現在府の現地確認・審査が行われています。 今後も、不安に感じる部分があれば当該事業を活用していただきたいし、緊急の場合は、府に直接若しくは市に連絡をいただければ、府に伝えてまいります。要望いただいた箇所については、府の専門技師が現地確認していますので、一定安心いただければと思います。 土砂の堆積は、一定の基準を設けて判断をしているので、要望の際の判断基準としていただければと思います。	まちづくり推進部長	①実施	今年度、御提案をいただきました犬飼川の吉川橋上下流の堰堤及び法面の改修については、堆積の著しい箇所のみ河床整正・浚渫を行うことで一部採択され、京都府によって整備を進めていただいています。
2	吉川町	府の職員が現地確認をして安全だと判断をしているにしても、その結果をはっきりと自治会に伝えてほしい。 (住民から自治会に問い合わせが多く入るので)	府に確認し、伝えるように要望してまいります。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
3	吉川町	「移住促進特別区域」及び「既存集落まちづくり区域指定」導入の現状について ①移住促進特別区域制度における各町の現状と今後の見通しについて	①区域指定が行われると、市外からの移住者に180万円の空き家改修補助が受けられるほか、京都コンシェルジュによる移住相談や現地案内等との連動がスムーズになります。 現在、自治会単位で10地区が指定されており、実績はこの2年間で14組40名。 ほとんどが子育て世代であり、地域の活性化につながっていると考えています。地域としても、例えば保津町では「集落の教科書」を作成されたり、東本梅町では自治会ホームページ内に移住促進ページを作成されるなど活発な動きが出てきています。 移住促進特別区域については、令和2年度までの時限措置となっていますが、移住促進の動きが着実に前進していることから、市としても府に対し、制度の延長を要望していきたく考えています。吉川町においても、本制度を活用されるのであれば申請期限は今年度中となっているので検討いただき、ふるさと創生課までご相談いただきたいと思います。また、亀岡市全体として、空家は増えているが、空家バンクの登録件数は少ない現状があります。登録30件に対し、希望者は190人います。是非とも空家の活用、提供にご協力いただきたいと思います。	市長公室長	③検討	令和元年10月11日に吉川町自治会の役員の皆様を対象にした移住促進特別区域に関する説明会を開催いたしました。 現在自治会内部でご検討を進めていただいている状況ですが、区域指定を前向きにご検討いただきたいと思います。
4	吉川町	【質問事項等】 14組40名の内訳が知りたい	西別院町・保津町・馬路町・曾我部町・東本梅町・千歳町で14件。 特に偏りはありません。	市長公室長	①実施	令和元年11月20日現在、1件移住者が増えており、移住検討者も数組いらっしゃる状況です。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	吉川町	②既存集落まちづくり区域指定制度における現状と今後の見通しについて	<p>既存集落まちづくり区域指定制度は市街化調整区域内の既存集落における地域コミュニティの維持、活性化を図るため、区域と予定建築物の用途を指定して、指定区域内で自己用住宅等の建築を可能とする制度です。平成30年4月に保津町、平成31年4月には馬路町、河原林町で指定して運用を開始しています。</p> <p>今年度は千歳町において区域指定に向けた取り組みを進めているのと、穂田野町において勉強会が開催されています。制度の導入は別として、勉強会等については要望があれば開催するので検討してほしいと思います。</p>	まちづくり推進部長	①実施	<p>R1.10. 2自治会三役等への制度説明 R1.10.11勉強会開催（対象者：吉川町自治会役員） R2. 2. 3勉強会開催（対象者：吉川町住民）</p> <p>現在は、制度活用について自治会で検討中。 地域の意向に応じて、区域指定に向けた調査・検討等の取り組みを予定しています。</p>
6	吉川町	【質問事項等】 「移住促進特別区域」及び「既存集落まちづくり区域指定」の両制度を使う方がいいのか。また、取り組み開始から運用開始までどのくらいの期間が必要になるのか。	<p>空家問題で困っているのであれば、「移住促進特別区域」だけでも改修費の補助等があるので活用できますが、新規に家を建てるのであれば両制度を活用していただくのが一番いいと考えます。</p> <p>運用開始まで約3ヶ月程度は必要になります。自治会側で必要になるのは、空家の件数を把握していただく事になります。府への申請書は一定市が書きます。</p> <p>詳細は、ふるさと創生課の職員を吉川町に何合わせます。ただ、府の申請受付期間が決まっているので、その期間に合わせていただく事となりますのでご了承願います。</p>	市長公室長	③検討	<p>令和元年10月11日に吉川町自治会の役員の皆様を対象にした移住促進特別区域に関する説明会を開催いたしました。</p> <p>現在自治会内部でご検討を進めていただいている状況ですが、区域指定を前向きにご検討いただきたいと考えています。</p>
7	吉川町	【質問事項等】 質問の主旨からは逸れてしまうが、府営穴川団地には50程の空き室がある。そこを活用できれば、地域活性化にもつながるのではないか。	<p>府営団地については、災害時等の緊急使用等に備え、計画的に空き室を残していることも聞いています。すべてを活用することはできないが、府の住宅公社に、活用について要望してみます。</p>	市長 (まちづくり推進部)	⑥その他	<p>府営穴川団地は亀岡市が管理代行を行っていませんが、活用につきましては京都府と協議します。</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	吉川町	【質問事項等】 児童手当などの子育てに関する手当を吉川町民に対し増額等の施策があれば人口減少の対策となるのではないかと。	子育て関係の手当は、亀岡市全体として進めており吉川町のみが対象となるようなものは現状ありません。 医療費の拡充や、保育料の無償化が始まる等、一定の補助制度はあるので、家庭の状況によって活用していただきたい。 また、自治会によっては3人目の子どもに対しお祝い金が出るなどの取り組みはしていただいている。	市長 (こども未来部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
9	吉川町	コミュニティバス・ふるさとバスの有効活用について	①災害時のバス利用について 平成23年に京阪京都交通㈱と「災害等緊急時におけるバス輸送に関する協定」を締結していますが、内容としては避難所から避難所の輸送や、ボランティアの輸送等の大量輸送を想定しており、個々の玄関口までというのは難しいと考えます。	総務部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
10	吉川町	コミュニティバス・ふるさとバスの有効活用について	②要援護者に対する交通機関の施策について 敬老乗車券事業については、70歳以上の高齢者が対象で、今年度からはタクシーにも利用できるようになりました。吉川町の方は26名に購入していただいております。また、まだの方は市役所で販売しているのでご検討いただきたいと思います。福祉タクシー事業については、障害者手帳を有している方のみが対象となりタクシーやバスが利用できるチケットを交付しています。	健康福祉部長	①実施	当日の回答のとおりです。 福祉タクシー等事業については、障がいを抱える方の外出を支援するものとして、障がい当事者及び介助者等からのニーズも高いことから、引き続き継続実施の予定です。
11	吉川町	コミュニティバス・ふるさとバスの有効活用について	③コミュニティバス・ふるさとバスについて ふるさとバスについては、運行に多くの行政負担があることをご理解いただきたいと思っております。 5台のバスで5路線を運行しているが、乗車人数の大幅な増加が見込める等がない限り、増便等は難しい。 なお、吉川町については京阪京都交通バスの路線が走っているため、コミュニティバスは通っていないということにご理解をいただきたい。	まちづくり推進部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
12	吉川町	【質問事項等】 京阪京都交通バスの八田経由園部行のバスについて、余部の農業試験場の交差点を曲がらず前のように吉川町を通過してほしい。	公共交通では空のバスを走らすことになってしまうため、要望を叶えることは難しいです。 例えば、地域交通として自治会が地域の足になる方法があります。(東別院町で実施)市が一定の補助を出し、自治会が運行をする方法で、他町と合同で実施するなど今後検討の余地はあると思う。	市長 (まちづくり推進部)	⑤困難 ③検討	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
13	吉川町	京都縦貫道の建設により、従来の生活用水路が60cm深く掘り下げられた。止め板で問題の解消を図ってきたが、高齢化のため作業に危険が増えてきた。可動式の止め板を設置するなどの改修をお願いしたい。 また、水路にごみや泥などが溜まり地域住民の清掃活動では対処ができなくなってきているので、併せて道路の改修もお願いしたい。	工事履歴を確認したところ、亀岡市若しくは建設省の工事により設置されたものであり、正直なところどちらが設置したのかわからない状況である。現状、利用者が不便を感じておられることについては理解しているところですが、ただ、里道・水路なので、日常の管理（泥上げ等）は基本的には地元のお世話になることとなります。 また、維持管理のための舗装工事や付帯工事は認定外道路整備事業として、市が事業費の1/2を補助する制度があるので活用をお願いしたいと思えます。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
14	吉川町	【質問事項等】 懇談事項の主旨をわかっていない 要点としては ①水路の止め板を機械的なものに変えてほしい。 ②公共工事のせいで流れがおかしくなった水路をもとに戻してほしいという要望に対し、1/2の補助しか出ないのはおかしい。の2点である。	本来は、その事が起こった時に解決しておかなければならない事であり、その時は大丈夫だったけど高齢化に伴い作業が厳しくなってきたから元に戻してほしいというお願いは行政的に難しい。 今、市ができることは事業費の1/2の補助を出して、改修を行うことである。	市長 (まちづくり推進部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
15	吉川町	【質問事項等】 懇談事項の主旨をわかっていない 要点としては ①水路の止め板を機械的なものに変えてほしい。 ②公共工事のせいで流れがおかしくなった水路をもとに戻してほしいという要望に対し、1/2の補助しか出ないのはおかしい。の2点である。	土木管理課で、様々な制度（土地改良事業補助金など）を組み合わせてもう少し補助が出せないか調べているのでまた改めて報告させていただく。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおり、維持管理のための舗装工事やこれに伴う付帯工事は認定外道路整備事業として、市が事業費の1/2を補助する制度があるので活用をお願いしたいと思います。 その他に土地改良事業による補助金制度がありますが、土地改良施設（農業用施設）であることは勿論、必要受益面積・受益戸数など種々採択するための要件があり、なかなか厳しい状況であると考えますが、これらを整理することが可能ならば土地改良事業の補助金も活用していただけるものと考えます。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
16	吉川町	【質問事項等】 災害時の避難所開設について 穴川地区に住んでいる人は、危険個所の犬飼川を超えて避難所に行かなければならないため、状況によっては吉川小学校の避難所を開設していただきたい。 また、小学校の避難所は、学校が休みの日でも問題ないのか。	避難所については、規模に応じて順次開いていくこととなります。 各年度の当初に各担当職員と管理者が、あらかじめ開設方法について協議をしています。休みの日であっても、管理担当の先生に直接連絡を入れるので避難所の開設については問題ありません。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
17	吉川町	【質問事項等】 今年から避難基準が変わったと思うが、非難の呼びかけについて、市の広報方法は。	亀岡市の中でも、桂川の近くなど特に危険な個所などをあらかじめ決めていて、雨などの規模に応じてそのエリアごとに避難準備情報等を段階に応じて発信していきます	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
18	吉川町	【質問事項等】 今年から避難基準が変わったと思うが、非難の呼びかけについて、市の広報方法は。	携帯に直接一斉送信するエリアメールがあるので、個人に対して直接避難指示をしていくこととなります。	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
19	吉川町	【質問事項等】 余部町の丸亀ガスのところのほじょ整備について 吉川町には、お年寄りや子供が安全に歩ける歩道がないように思う。 ほ場整備で、歩道付の道路をつけてほしい。	基本的に、ほ場整備は農業用道路の整備となるため、歩道付の道路は難しいです。場合によっては、ほ場整備を進めていく中で大きな市道をつける事もあるので、引き続き安心安全なまちづくりを進めてまいります。 ただ、ほ場整備単体で歩道付の道路は難しいですが、農道といっても、今までよりはかなり広くなります。	総務部長 (産業観光部)	①実施	余部・安町工区につきましては、当該範囲周辺の工事計画が決定しており、現在、換地計画原案の作成に向けた作業を地元役員において進められています。ほ場整備事業で整備する道路につきましては、基本的には農道の整備を行いますので、歩道を設置することは出来ません。また、整備する農道につきましては、W=4.0m、W=5.5mの幅員となります。
20	吉川町	【質問事項等】 学校規模適正化についての進捗状況をお聞かせ願いたい。	子どもたちに丁寧な教育を与えるため、順次動いているところです。 東輝中・詳徳中ブロックでは、安詳小学校区をつつじ小・詳徳小へ、つつじ小学校区を南つつじ小へ、夕日ヶ丘団地を詳徳中校区へ変更するために地元説明会を開き、令和2年4月に見直します。 亀岡中ブロックでは、駅北に新しくできる320戸の団地の校区をどこにするか検討を始めています。保津小が、令和2年4月から小規模特認校としてスタートするところです。	教育長 (教育部)	⑥その他	東輝・詳徳中ブロックでは、令和2年4月の校区見直しに向けて準備を進めています。 また、別院中ブロック、亀岡中ブロックでも地元自治会や保護者と協議を進めており、育親中ブロックでも関係自治会と協議を始めました。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
21	吉川町	【質問事項等】 学校規模適正化についての進捗状況をお聞かせ願いたい。	本来なら育親中・南桑中校区も議論を始めなければならないが、まだはじめられていません。複式学級を解消するため、人口減少の中、できるだけ合併はしたくないので、定住促進を含め、議論を進めていかなければならないと考えています。	市長 (教育部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
22	吉川町	【質問事項等】 かめおか プラスチックごみゼロ宣言について 市長が緑花協会にいたころ活用していた生分解性プラスチックをもっと活用してください。	プラスチックの代替手段として、紙や生分解性プラスチックを活用していきたいと考えています。 市民の方が、かめおか プラスチックごみゼロ宣言に関心を持っていただいていることが分かり嬉しく思います。	環境市民部長	②実施予定	今年度3月制定、8月施行を目指すプラスチック製レジ袋提供禁止条例では、プラスチックの代替手段として、紙や生分解性の袋について、有償での配布は認めることとする予定です。 ※ただし、生分解性の袋とは、水環境、土壌環境のいずれでも分解するバイオマスプラスチックの袋のことをいいます。